

第36回
モントリオール世界映画祭
正式招待作品

ぶつかつて、
ぶつかつて、
人は強くなる。



渾身

KON-SHIN

錦織良成監督最新作



伊藤 歩 青柳 翔

長谷川初範 宮崎美子 井上華月(子役) 中本 賢
隆 大介 中村麻美 / 粟野史浩 高橋長英 真行寺君枝 春田純一 松金よね子

桜木健一 上田耕一 不破万作 野添義弘 佐藤浩之 岡田幸樹 浅川雅広
甲本雅裕 笹野高史 中村嘉葎雄 / 財前直見

監督・脚本：錦織良成

原作：「渾身」川上健一 (集英社文庫刊)

KON-SHIN.JP

隠岐古典相撲。一生に一度の真剣勝負、誇りをかけた大一番。その日、島は一つになる——。

青い空と碧い海。日本海の宝島・隠岐諸島——。

“絆”や“思いやり”という言葉だけでは言い表せない
日本の心が、そこにある。

豊かな大自然を背景に、古典相撲を通して、
島とともに生きようとする家族を描く珠玉の感動作。

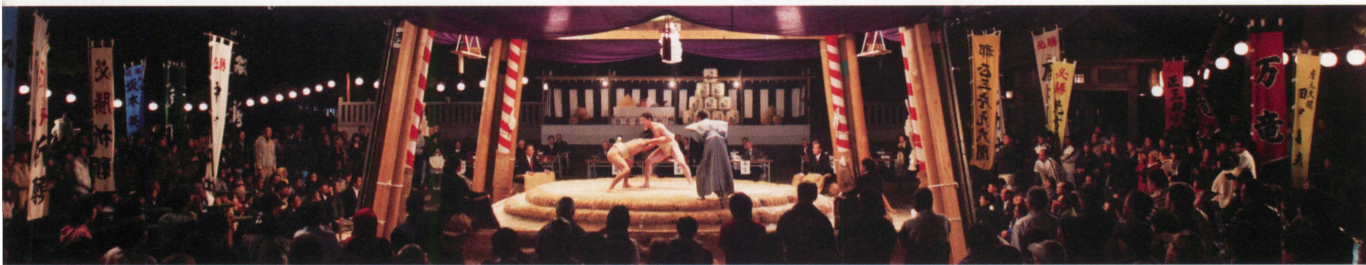
島で生まれ育った多美子は、夫の英明と、まだ「お母ちゃん」とは呼んでくれないが、前妻の娘・琴世とともに幸せに暮らしていた。島に暮らす誰もが大切にしている20年に一度の古典相撲大会の日。最高位の正三役大関に選ばれた英明は、地区の名誉と誇り、家族への想いを賭けて、土俵に上がる。対戦相手は、島一番の実力者。喜びと不安を胸に多美子と琴世、そして英明、それぞれの想いをのせ、生涯一度しかない、大一番の幕が切って落とされる。



今の時代だからこそ、「渾身」を全世代に届けたい。

島根を舞台に「白い船」(02)、「うん、何?」(08)、「RAILWAYS ~49歳で電車の運転士になった男の物語~」(10)を送り出した錦織良成監督が、十年来注目していたのが【隠岐古典相撲】。川上健一の同名小説と出会い、「渾身」の想いで映画化を果たす。島に生きる芯の強い女性・多美子に伊藤歩。古典相撲に挑む

夫・英明には今作で本格映画デビューを飾る劇団EXILEの青柳翔。フレッシュな顔合わせのふたりの脇を、錦織組にはおなじみの甲本雅裕、長谷川初範、宮崎美子をはじめ、財前直見、笹野高史、中村嘉葎雄などベテラン勢が、確かな演技で支えている。



相撲の原点【隠岐古典相撲】。一勝一敗の取組みの魅力！

隠岐諸島あげての全面協力のもと、20年に一度の遷宮相撲を完全再現。出雲大社に次ぐ格式を誇る隠岐一之宮・水若酢(みずわかす)神社の境内に、御柱の切り出し、磨き、三重(さんまい)土俵の準備、練り歩きに土俵入り、クライマックス大取の

一番の大激戦まで、迫力ある取り組み、相撲シーンの撮影に成功。鍛え上げられた生身の肉体のぶつかり合いと、土俵上に飛び交う2トン余の塩を要しての熱狂的な応援合戦は、大画面にふさわしいスペクタクル感に溢れている。



エグゼクティブプロデューサー：石塚晴久/柴崎文雄 Co.エグゼクティブプロデューサー：松本 洋 アソシエイトプロデューサー：星 久人/藤井健太郎/瀧澤知峰 プロデューサー：川崎 隆/佐藤唯史 音楽プロデューサー：池畑伸人 ラインプロデューサー：鈴木 剛
撮影：松島孝助 照明：青角荘介 美術監督：稲垣尚夫 録音：西岡正巳 編集：日下部元孝 スクリプター：赤澤 瑠 音楽：長岡成貴 キャスティング：原田 信/増田悟司 アクションサポート：広沢 俊 助監督：土屋哲彦 製作担当：齋藤大輔
特別協賛：共立メンテナンス 協賛：水谷園/久光製菓/大日本印刷 支援：「渾身」支援実行委員会/島根県・隠岐の島町・西ノ島町・海士町・知夫村 制作プロダクション：goen/ユニークブレインズ 制作：出雲ビクターズ 製作：2012「渾身」製作委員会 配給：松竹◆

2013年1月12日(土) 全国公開